

実施計画事業名		水産物円滑流通事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 水産商工課		課長(主幹)名	畑 均			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	1	安全で良質な水産物の供給に努めます					
	関連施策							
現状と課題	本市では、昭和49年に、主に沖合底引網漁業の漁獲物を扱う公設の卸売市場として、稚内市地方卸売市場を開設し、適正な価格で迅速に安定供給できるよう努めてきた。200海里漁業専管水域が設定される直前の昭和51年(50万t)と比較すると取扱数量は10分の1程度に減少しているものの、沖合底引網漁業で水揚げされる水産物の取引の適正化と流通の円滑化には不可欠の施設となっている。							
目的	沖合底引網漁業で水揚げされる水産物の取引の適正化と流通の円滑化を図る。							
施策5ヶ年開の	稚内市地方卸売市場の管理運営を指定管理者制度により実施する。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	稚内市地方卸売市場の年間取扱高		百万円	目標	2,600	2,600	2,600	
説明	各年1月～12月			実績	2,667	2,358		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	稚内市地方卸売市場の年間開場日数		日	目標	300	300	300	
	説明			実績	301	298		
	稚内市地方卸売市場のせり売実施日数		日	目標	300	300	300	
	説明			実績	217	193		
	稚内市地方卸売市場の買売人承認数		人	目標	49	49	49	
	説明	稚内市地方卸売市場条例に基づく買売人の承認を受ける人の数(出荷買受人、加工買売人、小売買受人の合計)		実績	45	45		
			目標	-	-	-		
説明			実績					
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	31,400	31,540	33,764		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	18,130	14,251	17,000		
	一般財源		千円	13,270	17,289	16,764		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.15	0.34	0.34		
人件費(B)		千円	1,019	2,364	2,364			
計(A+B)		千円	32,419	33,904	36,128			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 天候不順等の影響から水揚の無い日が増え、せり日数が減少し、年間取扱高の目標を達成することができなかった。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 市場施設は築30数年を経過し、老朽化が進んでいるが、今後も安全で良質な水産物の供給に資するため、指定管理者と十分に協議を重ねながら、必要な維持補修を計画的に進めていく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 成果を「b」とする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--